

# 学校のあゆみ

明治 7年 9月	神杉尋常小学校創立(大字高杉神宮寺堂宇)
明治 11年	武田純氏宅を借り教場とする。 ここで成章舎を改め高杉小学校とする。
明治 21年 4月	高杉元卿蔵へ校舎を新築し移す。
明治 31年 11月 5日	初めての運動会が行なわれる。
大正 6年 4月 1日	従来の神杉尋常小学校を高杉尋常小学校と改称し高等科を併置する。
大正 7年 7月 23日	本校校舎落成式
昭和 10年 11月 2日	旧木造校舎落成式
昭和 16年 4月 1日	神杉国民学校と改称する。
昭和 22年 4月 21日	神杉村立神杉小学校と校名を変更する。
昭和 22年 12月 23日	P T A 結成
昭和 29年 4月 1日	三次市制がしかかれ、三次市立神杉小学校と改称する。
昭和 32年 9月 27日	学校給食を開始する。
昭和 42年 2月 4日	屋内運動場落成式
昭和 45年 11月 9日	子ども銀行大臣表彰を受賞。
昭和 46年 7月 21日	プール完成竣工式を行なう。
昭和 49年 11月 24日	創立 100 周年記念式典を行なう。
平成 3年 3月 16日	新校舎完成落成式
平成 3年 11月 26日	優良子ども銀行として全国表彰を受賞。
平成 11年 10月 21日	子ども銀行、大蔵大臣・日銀総裁表彰を受賞。
平成 15年 3月 6日	新屋内運動場完成落成式
平成 15年 11月 20日	広島県教育委員会指定平成 14・15 年度 育ちをつなぐ幼保小連携教育研究大会実施。 備北教育事務所「キャリア教育」教育実践研究指定 広島県「ことばの教育」ステップ・アップ事業指定、 備北教育事務所教育実践研究校指定(～20年度) 三次市学力向上モデル事業指定、排水設備工事
平成 17～18年度	三次市生き生き予算重点校(国語教育推進校) 「山・海・島」体験活動(作木町カヌー公園) 三次市教育研究等指定校(～27年度) [優勝旗] 寄贈 三次市「小中一貫教育」モデル地域指定 [校旗] 寄贈 第 5 回広島県小学校家庭科教育研究大会(北部大会) 第 2 回みよし教育フェスタ児童発表 プール建設
平成 19年度	創立 150 周年記念式典を行なう。
平成 22年度	教育課程柔軟化サキドリ研究校 (文部科学省指定)
平成 24年度	
平成 26年度	
平成 27年度	
平成 29年度	
令和 6年度 11月 3日	
令和 8年度	

## 令和 8 年度 日課表

時刻	校時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:15	朝会	読書	クリーン		クリーン	①通学班 ②やるソウタイム ③運動 ④音楽
8:30						
8:35						
8:45						
8:45	①校時					
9:30						
9:35						
10:20	②校時					
10:20						
10:35						
10:35						
11:20						
11:25	③校時					
12:10						
12:25						
12:25						
12:45						
12:45						
13:10						
13:10						
13:55	⑤校時					
14:00						14:00～14:15 終わりの会
14:00						14:15～15:00 第1委員会 第2クラブ
14:45	⑥校時					
		終わりの会	終わりの会	終わりの会	終わりの会 一斉下校	15:00
		15:00	15:00	15:00	15:00	15:00

### 令和 8 年度 神杉小学校経営構想図

#### 学校教育目標

第 3 次三次市総合計画  
みよし学びの共創プラン  
《みよし結球人～幸福～》

児童の実態  
保護者の願い  
地域の願い

**確かな学力と豊かな人間性をもち  
自ら伸びる子どもの育成**

自ら学ぶ 認め合う 元気

#### めざす学校像

子どもたちの夢や目標の実現をめざし  
未来に向け自ら伸びる学校  
【子どもファーストな学校】

#### めざす子ども像

「ポジティブチャレンジ」  
【前向きに考え、やってみようとする子】

#### めざす教職員像

協働して子どもの可能性を伸ばす教職員  
服務規律を遵守し、信頼される教職員  
自ら学びアップデートし続ける教職員  
【アップデートし続ける教職員】

#### 【知】自ら学ぶ

- 主体的に学びに向かう子
- 自分の考えを高め、伝える子
- 友だちと学びを深める子

◆ **確かな学力の定着と意欲の向上**

- 基礎・基本の学習内容の取組
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ICT の効果的な活用
- 読書活動の工夫・充実
- 学級経営の充実

◆ **研究主題に基づく授業改善**

- 探究的な学習の単元開発と検証
- カリキュラムマネジメントの充実
- 振り返り活動の充実

◆ **地域とともに成長する学校づくり**

- 様々な分野における地域の人的資源を有効に活用し、地域の方と主体的な連携を深める
- 付けたい力を明確にし、「地域から学び」「地域のためにできること」を考えさせる

#### 【徳】認め合う

- 友だちの良さを認め合える子
- 自分からあいさつができる子
- かかわり合って行動する子

◆ **縦割り班活動・リーダー経験**

- 縦割り班活動の工夫・充実
- 異学年交流での学びの場づくり
- リーダーとしての自覚と実践力の育成

◆ **スマイルカードの取組の充実**

- 1人1人の良いところを認め合い、価値付け、伝え合う取組

◆ **コミュニケーション能力の向上**

- 「どこでも、いつでも、誰にでも」できる あいさつの定着
- ソーシャルスキルの向上

#### 【体】元気

- 心身ともに健康な子
- 生活をコントロールできる子
- 力を合わせて取り組める子

◆ **基本的生活習慣の確立**

- 生活づくり週間の取組の工夫・充実
- 保護者への啓発と連携(メディア・ゲームとの関わり方)

◆ **安全・安心な学びの場づくり**

- 安全・安心な学びの場の確立
- 生徒指導の未然防止に向けた日常的な情報交流と組織的な取組の充実

◆ **食育の充実**

- 「お弁当の日」の取組の充実

◆ **確かな学力** ◆ **豊かな人間性** ◆ **自ら伸びる**

#### 研究推進

教育課程柔軟化サキドリ研究校(令和 8・9 年度 文部科学省指定)  
他者と協働し、課題を主体的に解決しようとする児童の育成  
～ 地域とともに共創する「神さざる未来プロジェクト」の創造を通して ～

#### 塩町中学校区コミュニティ・スクールの推進

確かな学力を身に付け、他者とのかかわりを通して自らを伸ばそうとする子供の育成

特に育成をめざす資質・能力	資質・能力	5 つの約束
<b>主体性</b> 自ら考え行動できる児童	知識・技能	○ 話をよく聞く ○ 自分の思いを伝える
<b>表現力</b> 自分の思いを言葉で伝え合う児童	思考力・判断力・表現力	○ あいさつをよくする ○ 家庭学習を毎日する
<b>協働性</b> お互いの良さを認め合い、協力できる児童	主体性・協働性	○ テレビ・ゲーム・SNS 利用のルールを守る

家庭・地域・塩町中学校区(保育所・中学校・高等学校)との連携

目指される学校 組織的な学校運営 学校情報の積極的発信 服務規律の徹底 危機管理(安全・安心な学校) 防災教育の充実



## 中期経営目標及び短期経営目標

中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標
主体的に学びに向い、自分の考えを高め、伝えようとする子どもの育成を図る。	基礎・基本の学力の確かな定着、向上を図る。	・反復練習(漢字・計算)の徹底やタブレットドリル等を効果的に活用し、基礎・基本の学力の定着を図る。 ・ICT を効果的に活用した授業づくりを深化させる。	・単元末テスト(国語・算数) 80 点以上の児童の割合を 70% 以上にする。
	育成すべき資質・能力の向上を図る。	・新コアカリキュラムの実践を進め、検証を図る。 ・振り返りの活動を充実させ、自己調整力の育成を図る。 ・読書活動を充実させ、読書に親しむ機会を多く設け、読書量を増やす。	・年間 2 回の児童意識調査を行い、「主体性・表現力・協働性」の肯定的評価を 85% 以上にする。 ・「本を読むことは楽しい」児童の割合を 80% 以上にする。
友だちの良さを認め合い、かかわり合って前向きに行動できる子どもの育成を進める。	自ら考え、判断・行動し、チャレンジする気持ちを育てる。	・自己選択・自己決定の場を設定し、児童に様々な場面でチャレンジする経験をさせる。 ・協働することの大切さを実感するため、児童会や縦割り班活動の充実を図る。	・毎学期の振り返りシートにおける肯定的評価 ① 学習・特別活動等において、自己選択・自己決定を進んで行った。80% 以上 ② 友だちと(他学年の)協働して縦割り班活動に取り組んだ 80% 以上
	挨拶や言葉づかい等、場や相手に応じた行動のあり方を考え、人権意識や自己有用感を育てる。	・スマイルカードの取組を充実させ、1人1人の良いところを認め合う活動を充実させる。 ・自分から進んであいさつができるようにする。	・毎学期の振り返りシートにおける肯定的評価 ① スマイルカードに友だちのよいところを見つけて書いた。 ② 登校時や来客の方に対し、自分から進んであいさつができる。80% 以上
体力の向上と生活習慣の改善を図る。	基礎体力の向上を図る。	・運動朝会の内容や方法を工夫し、楽しんで基礎体力を向上できるようにする。	・体づくりに関するアンケートの肯定的評価 80% 以上にする。
	健康に関心をもち、健康的な生活をつくらうとする気持ちを育てる。	・「お弁当の日」の取組を工夫し継続する。 ・自分の生活をコントロールする力を育てる。	・生活リズムチェックで、目標を達成できる児童の割合を 70% 以上にする。(高学年)
信頼と協働に支えられた地域とともに成長する学校づくりを推進する。	積極的な情報発信を行い、保護者の学校に対する信頼度や満足度の向上をめざす。	・学校HP や各種通信などで積極的に情報発信を行うとともに、保護者との連携を主体的に進める。 ・保護者間の関係づくりを進め、学校への相談体制を充実する。(迅速で誠実な組織的対応) ・業務改善をさらに進める。	・保護者の肯定的評価[3・4]を 90% 以上とする。 ・職員の時超過勤務 45 時間以内を 100% にする。
	地域とともに成長する学校づくりをさらに進める。	・コミュニティ・スクールとして、小中・地域がさらに連携した取組を進める。	・「子どもの学び応援団」の取組を年間 10 回以上。 ・地域(外部)人材を活用した学習活動を年間 10 回以上。

重点取組

### 神杉小教育の原点

子どもたちは、私たちの姿を見て育ちます

**使命** 私たちは子どもを守り、育てます。  
**遵法** 私たちは、法令を遵守します。  
**公正** 私たちは、不祥事を起こしません。  
**公開** 私たちは、地域に開かれた学校にします。

三次市立神杉小学校教職員

#### 【教育相談窓口】

校長 玉木 昌知  
教諭 津山 佳子  
養護教諭 高崎 真帆

#### 【性暴力・体罰・セクハラ・パワハラ相談窓口】

教頭 高淵千香子  
教諭 原 勝明  
養護教諭 高崎 真帆

#### 【障害を理由とする差別解消のための相談窓口】

教頭 高淵千香子  
教諭 関元 壮史  
養護教諭 高崎 真帆

### 中心価値・行動規範

児童、保護者、地域から信頼され、魅力ある学校

(魅力ある学校)

児童：学んでよかった

保護者：通わせてよかった

地域：一緒に育ててよかった

教職員：勤めてよかった